

# 館山市の浄化事例報告

～全国各地、数ある事例の一端をご紹介～



認定NPO法人 安房の海を守り育む会 (写真提供)

事務所所在地

〒294-0057

千葉県館山市川名656

TEL 0470-20-5022

FAX 0470-27-2464

Email:kinnouya@awa.or.jp

# 館山「川と海」再生プロジェクト

2002年 船形地区どどん川と宇多田川で毎週平均約2トンのEMの放流を開始。

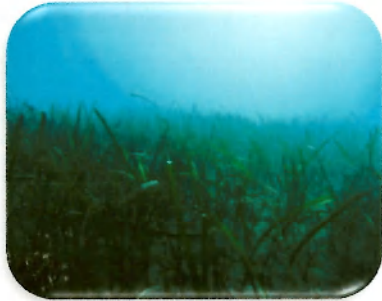


放流開始当時の干潮時の宇多田川 汚泥が堆積し、片側しか水が流れていない。

海も湖も  
  
 浄化は  
 山・川から



放流開始から2年経過 汚泥が500トン減ったと推計され、石ころが露出しているのが分る。



アマモの群生状況

## 「安房の海を守り育む会」の活動

安房の海を守り育む会は「ふるさとに きれいで ゆたかな川と海を」を合言葉に、平成14年から活動を始めました。

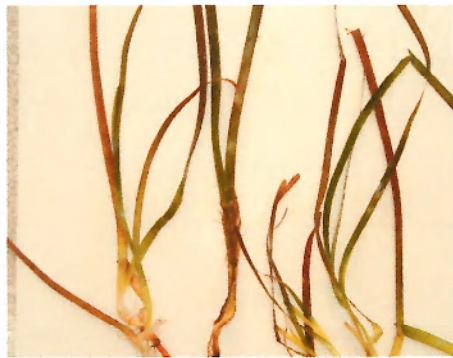
以来、毎日曜日休むことなく活動を続けてきました。有用微生物群(EM)の力で川を浄化し、昔のようなきれいで豊かな海にしようという活動です。



アマモの群生状況



2005年には海のきれいさの指標といわれるアマモが打ち上げられる



川の小さな生物たちが増えたため、様々な鳥が飛来するようになった



遡上してきたサケ



大きなサケを捕獲



有用微生物群の培養器本体3ト



有用微生物群の培養器200リットル、400リットル ボランティア・中学生の参加によるダンゴ作り、10000個完成



培養倉庫

小学生による、排水溝に培養された発酵液を投入

ボランティア・中学生による発酵液投入(2トン)



2004年夏には**絶滅危惧種**ナミノコガイが那古～北条海岸で30年ぶりに復活

あとから来る者のために  
 田畑を耕し 種を用意しておくのだ  
 山を 川を 海を  
 きれいにしておくのだ  
 ああ あとから来る者のために  
 苦労をし 我慢をし  
 みなそれぞれの力を傾けるのだ  
 あとからあとから続いてくる  
 あの可愛い者たちのために  
 みなそれぞれ自分ができる  
 なにかをしていくのだ

坂村 真民

**活動の成果**

有用微生物群(EM)を放流してきた宇多田川、  
 どんどん川では、堆積していた汚泥や悪臭が  
 減少しました。川には小さな生物が増え、様々  
 な鳥も飛来しています。上流部の正木岡地域  
 の水路ではシジミやモクス蟹、笹エビ、ヨシノ  
 ボリなど絶滅したかと思われていた魚介類も  
 復活しました。また、浄化した水が流れ込む那  
 古海岸では、平成16年夏に絶滅危惧種ナミノ  
 コガイが30年ぶりに復活し、サルボウガイ(ア  
 カガイの仲間)が40年ぶりに発見されました。



南房総／館山 認定NPO法人 安房の海を守り育む会  
 後援：館山市／館山市教育委員会／館山市観光協会／館山商工会議所  
 館山市商店会連合会／房日新聞社／ロックシティ館山／イオン館山店